

外国語選択ガイド

(2026年度版)

駒澤大学総合教育研究部

外国語第二部門

この冊子は、これから駒澤大学で学ぶ皆さんが外国語を選択する際に、参照していただくためのガイドです。

さあ、このガイドを読んで、自分に合った外国語を見つけましょう。

目次

(1) 入学手続の時に指定する必修外国語	2
ドイツ語	4
フランス語	5
中国語	6
スペイン語	7
ロシア語	9
(2) 必修以外の「選択科目」が開講されている外国語	10
朝鮮語	10
(3) 学習に役立つ情報	11

選択外国語としての英語については、
次の大学ホームページを参照してください。

〔駒澤大学サイトホーム〕→〔学部・大学院〕→
〔学部学科紹介〕→〔総合教育研究部〕→
〔外国語第一部門（英語）〕



<https://www.komazawa-u.ac.jp/academics/faculty/sougou/language-first/>

(1) 入学手続の時に指定する必修外国語

これは各学部あるいは各学科によって、卒業までに履修すべきものとして定められている外国語です。皆さんが所属する学部学科によってどのように定められているか、下の表で確認しましょう。

表の中で、英は英語、独はドイツ語、仏はフランス語、中は中国語、西はスペイン語、露はロシア語です。

この他、必修以外の「選択科目」のみ開講されている外国語として朝鮮語がありますが、必修外国語に指定することはできません。

学 部	学 科	学すべき 外国語数	選 び 方
仏 教 学 部	禪 学 科	1	英独仏中西露から1つ
	仏 教 学 科	1	〃
文 学 部	国 文 学 科	1	〃
	英 米 文 学 科	2	英語プラス独仏中西露から1つ
	地 理 学 科	2	〃
	歴 史 学 科	2	英語プラス独仏中西露から1つ (ただし外国語史専攻の第1外国語は英語以外を指定)
	社 会 学 科 社 会 学 専 攻	2	英語プラス独仏中西露から1つ
	社 会 学 科 社 会 福 祉 学 専 攻	1	英語
	心 理 学 科	1	英語
経 済 学 部	経 済 学 科	1	英独仏中西露から1つ
	商 学 科	1	〃
	現 代 応 用 経 済 学 科	1	〃
法 学 部	法律学科フレックスA	1	英独仏中西露から1つ
	法律学科フレックスB	1	〃
	政 治 学 科	1	〃

学 部	学 科	学すべき 外国語数	選 び 方
経 営 学 部	経 営 学 科	1	英独仏中西露から1つ
	市 場 戦 略 学 科	1	〃
医 療 健 康 科 学 部	診療放射線技術科学科	1	英語

注1：転部、転科試験の受験科目として外国語が課される場合は、英語のみです。

注2：グローバル・メディア・スタディーズ学部 of 必修英語授業は、学部学科独自のカリキュラムで行われますので、本ガイドでは取り扱いません。同学部の学生は、(2)「必修以外の『選択科目』が開講されている外国語」(10 ページ)以降をご覧ください。

教養特別履修

外国語の履修に関しては、演習科目と講義科目を指定単位数以上修得することによって「教養特別履修」の認定を受けることができます。詳しくは、履修要項で確認してください。

* 学年別の履修形態など、さらに詳しくは外国語部門のホームページをご覧ください。

行き方は、

〔駒澤大学ホームページ〕→〔学部・大学院〕

→〔学部・学科作成のページ〕

とたどって、「総合教育研究部」の「外国語第一部門」(英)
あるいは「外国語第二部門」(独・仏・中・西・露)にある
「外国語科目選択ガイダンス」です。

URL は次のようになります。

<https://www.komazawa-u.ac.jp/academics/faculty/sougou/language-second/guidance/>



ドイツ語

《世界のなかのドイツ語》

現在ドイツ語が母語ないし公用語として使われている地域は、ドイツ（約 8 1 0 0 万人）以外にも、オーストリア（約 7 5 0 万人）、スイス（約 4 0 0 万人）、リヒテンシュタイン、ルクセンブルクがあります。さらにその周辺のベルギーの南端、デンマークの一部、フランスのアルザス・ロレーヌ地方、北イタリア（いわゆる南チロル地方）等があげられます。ドイツ語の使用人口は約 1 億 2 0 0 0 万人ですが、それ以外にももちろん、世界各地で重要な第二言語のひとつとして学習されています。

《ドイツ語とは？》

ドイツ語は、言語学においては、英語やオランダ語と共に、インド・ヨーロッパ語族の中のゲルマン語派として分類されます。つまり英語とドイツ語はいわば兄弟関係にあります。従って、ドイツ語の基本的な語彙のかなりの部分は、英語と類似しています！

しかし両言語の相違も見のがすことは出来ません。ドイツ語は語形の変化をいまだ強く残していますが、英語では語形の変化は簡単なものになっています。こうした点に注意しながら、英語とドイツ語をゲルマン語という同じ系統の言語として勉強していけば、あらゆる相乗効果が期待できるはずです。

《ドイツ語を学ぶ意義》

日本におけるドイツ語学習の歴史は幕末に始まり、近代の日本は医学や哲学などさまざまな学術を主としてドイツから学びました。今日でもドイツは、EU の中心的存在として政治的ならびに経済的に重要な役割を果たしているばかりではなく、環境・雇用・社会保障制度などさまざまな現代的問題においても学ぶべき多くのものを持っています。文化について言えば、ドイツ語圏はゲーテ、シラー、カント、ニーチェ、などの偉大な文学者や哲学者、ベートーヴェンやブラームスやモーツァルトといった音楽家を生みしました。

外国語を学ぶ意義は、外国語を単にコミュニケーションの手段として修得することに尽きるものではありません。同時に、外国語を通してその国の文化や心情を理解することにも大きな意義があります。新しい外国語を学ぶことは、一つの新しい世界を開くことです。現代は多様な価値の並存する時代だといわれます。大学入学を機に豊かなドイツ語圏の文化に触れ、バランスの取れた広い視野を養うことこそ、真の国際交流にとってきわめて有意義なことだと思います。フレッシュな皆さんの参加を心から期待しております。

＊駒澤大学はドイツの北の街ハンブルクにあるハンブルク大学、西の街マンハイムにあるマンハイム大学と協定を結び、交換留学などを行っています。

また、宗教改革の始まりの町、ルターシュタット・ヴィッテンベルクで 1 か月間ドイツ語を学ぶこともできます。

フランス語

《フランス語の成立》 — Naissance et évolution du français —

フランス語は、古代ローマ帝国の言語であったラテン語が北フランス地方で固有の変化を遂げて形成された言語です。

中世期を経て北フランスが優位に立つと、その地方語が共通語として全土に広がり、ブルボン王朝の政治的・経済的・文化的統一政策の下で国語として完成されていきました。この 17 世紀の絶対君主制の権力を背景に、言語としての純化と規範化の努力が活発に行われて、国語辞典による語彙の整理、話法の強制、綴り字と発音の規定など、主として宮廷の言葉遣いを念頭に標準化されたのです。

今日のフランス語の基本構造はこの 17 世紀以来変わっていないといつてよいでしょう。

《フランコフォニー》 — La Francophonie dans le monde —

第一外交用語としてヨーロッパに君臨していた 18 世紀、19 世紀の威光はもはや望むべくもありませんが、今日フランス語を母語ないし公用語としている地域は、フランス本土以外にもベルギー（約 868 万人）、スイス（約 573 万人）、アフリカの旧植民地約 20 ヶ国などがあります。また 400 年の移民の歴史をもつカナダのケベック州を中心とした地域（約 783 万人）やフランスの海外県・海外準県・海外領土（西インド諸島グアドループ、マルチニクの 70 万人、レユニオン島の 50 万人、ニューカレドニアの 28 万人など、計 238 万人）も忘れることができません。フランス語を使用するこれらの地域を総称して「フランコフォニー」と呼びます。フランス語は全世界で言語人口推定約 3 億人（フランコフォニー国際機関 OIF による算出）の有力言語なのです。

《日本におけるフランス語》 — Étudier le français au Japon —

日本でのフランス語学習の歴史は幕末の長崎に始まります。明治政府の積極的な欧化政策の下で、主として法学・兵学の分野でフランス語教育が行われていましたが、やがて明治憲法の制定に伴ってドイツ系の学問が盛んになるにつれ、その勢いは相対的に減少して、在野の文化の領域などで重んじられる程度でした。

しかし、第二次大戦後の学制改革によって新制大学の第二外国語として取り入れられてから、フランス語の学習者は飛躍的に増大しました。その結果、辞書類も教授法も随分と充実してきました。これから皆さんが学ぼうとしているフランス語はこの延長上にあるものです。この間、日仏関係も、文化的な領域のみならず政治・経済の面でも緊密の度を深めてきました。21 世紀を迎えて、大学は、時代の要請に応えた魅力ある教育を提供するために改革の努力を着実に積み重ねています。その一方で、学ぶ主体である皆さんの積極的な参加も必要不可欠なものと期待されています。皆さんの学習意欲を授業の中にどしどし反映させていって下さい。

- * 駒澤大学はフランスの複数の大学と協定を結んでいます。短期語学セミナー・長期留学についての最新情報は、本学 WEB サイト、国際センターのページをご覧ください。

中国語

中国語って、どこのコトバ？

「中国語」は中国のコトバです、といってしまうと、それまでですが、事はそう簡単ではありません。中国本土には漢民族のほかに、いわゆる「少数民族」の人たちがたくさんいます。中国では漢民族のことを「漢語」といい、ふつう「中国語」といっているのは、これのことです。でも、「漢語」には、たくさんの方言があります。北京語、上海語、広東語……、みんながめいめいの土地のコトバで話したら、中国人どうしても、話が通じません。そこで、中国では、北京を基礎とした共通語「プートンホワ普通話」が定められています。

皆さんが大学で学ぶ「中国語」はこの「プートンホワ普通話」にほかなりません。これは台湾の共通語「グオユイ国語」や海外の華人社会の共通語「ホワユイ華語」とも、基本的に同じコトバです。みなさんが大学で学ぶ「中国語」は、いわば、世界に広がる中国人社会の共通語なのです。

これから中国語？

「中国語」を選んだ学生みなさんに、どうして「中国語」にしたか、というアンケートをすると、決まって出てくるのが、「これからは中国だ！」と家の人に言われた、という回答です。中国経済の影響力や日本経済との緊密な関係については、今や言うまでもないでしょう。ふつうの大学生でも、アルバイトさきで中国のお客さんの応対をした、そんな経験がまったくふつうのことになりました。むろん、いいことばかりではありません。政治的な対立もあれば、文化的な摩擦もあります。でも、そういう問題を解決してゆくためにも、コトバの力が必要です。これからの現実社会において「中国語」を学ぶことの必要性和有用性、それは疑う余地がありません。

漢文と中国語は違うの？

大学で学ぶ「中国語」は、現在話されている現代中国語です。いっぽうみなさんが高校で勉強した「漢文」は、むかしの古典語・文語文、いわば中国の人々にとっての「古文」です。でも、もとは同じコトバですし、どちらも文字や音声・語彙の各面で、日本語と密接な関係を持っています。「中国語」を学ぶことで、中国の古典や仏典、さらには日本語が、正しく深く理解できるようになるでしょう。日本や東アジアの、文学や歴史、思想や宗教、そんな分野を勉強するみなさんにとっても、「中国語」は必須の素養となるはずです。

駒澤大学で中国語！

駒澤大学では、必修の「中国語」科目のほかに、選択科目や課外の学習会があります。上海や台湾での、夏季語学セミナー、長期交換留学等の制度も充実しています。駒澤大学には中国文学科も中国語科ありません。それでも、これまでたくさんの先輩たちが、これらの条件を活用して、大学で「中国語」をモノにし、卒業後、「中国語」を活かした道に進んでいきました。

さあ、君も、駒澤大学で「中国語」にとりくんでみませんか！

＊駒澤大学は中国・台湾の複数の大学と協定を結んでいます。短期語学セミナー・長期留学についての最新情報は、本学 WEB サイト、国際センターのページをご覧ください。

スペイン語

《親しみやすく実用的》

スペイン語は、私たち日本人に最も親しみやすい外国語の一つです。理由として、まず発音のなじみやすさがあげられます。母音は a, e, i, o, u の 5 つですし、子音も有名な巻き舌音をはじめわずかなものを除けば、さほど習得に困難を覚えません。海外旅行用の会話手帳には片仮名のふりがなが付いていますが、スペイン語ほど日本語的なローマ字発音でも良く通じる外国語はないでしょう。たとえば、pan は発音も意味も「パン」そのまま通用します。

また、英語の学習経験のある私たちにとって有り難いことに、スペイン語には英語とほぼ同じ綴りで意味も共通の語が少なからずあります。実は英語の方が、スペイン語と同じロマンス語に属するフランス語経由で大量のラテン語系語彙（英語のおよそ 50% を占める）を借用しているからです。

スペイン語圏はスペインをはじめ、中南米 18 ヶ国および米国自治領のプエルトリコ、アフリカの赤道ギニアと広大な地域に渡ります。また、米国本土にもニューヨークやカリフォルニア・フロリダ両州を中心に、約 5000 万人を超えるヒスパニック系市民が住み、その政治的文化的影響力を軽視できない存在になっています。現在、世界のスペイン語の話者は、およそ 4 億人に達し、中国語、英語に次ぐ世界第 3 位の使用人口を持つ言語です。

スペイン語がかくも広く定着したのは、コロンブスの新大陸到達以後、スペイン人（ブラジルの場合はポルトガル人）による植民地化がそこで行われた歴史的経緯から説明されます。

《生い立ちとその周辺》

スペイン語は、イベリア半島のローマ帝国による支配の一環として普及したラテン語（正確にはキケロの作品などの文語ラテン語ではなく、一般民衆の話していた俗ラテン語）を、共通の祖先に持つロマンス諸語の一つです。ロマンス語には、他にフランス語、イタリア語、ポルトガル語、カタルーニャ語（スペインのバルセロナを中心とした地域で話されている）、ルーマニア語等があります。これらの言語は兄弟関係なので、互いに文法も似通っています。

スペイン語は、スペイン中央部の一地域で話されていたカスティーヤ方言が国家語化したものです。同方言の話されていたカスティーヤ地方がイスラム教徒に対するレコンキスタで主導的な役割を果たし、その政治的な勢力伸張と軌を一にして言語的な覇権を確立していきました。それゆえ、スペイン語は「カスティーヤ語」とも呼ばれます。

《音声と文法》

スペイン語の音声の特徴を一言で表せば、母音の明瞭さが際立ち、きびきびとした張りに満ちています。しかもきれいに流れるようで、耳に快く響きます。

英語との比較で際立つ文法的特徴を挙げれば、法（スペイン語には行為や状態を現実的なものとして述べる直説法と非現実的ないし不確定的に提示する接続法の 2 つ）・時制・人称・数に従い、かなり複雑な変化を示す動詞の活用があります。また名詞には男性形・女性形があり、これに一致して形容詞も語尾変化します。

近年 EU で存在感を増しつつあるスペイン本国に加え、将来に豊かな可能性を秘めた中南米にも根をおろしたスペイン語の世界を知ることは、新しい言語観や価値観を培い、異文化理解への視野を広げる良き糸口になるでしょう。

*駒澤大学はスペインの複数の大学と協定を結んでいます。短期語学セミナー（春季にスペインのアルカラ大学で実施中）および長期留学についての最新情報は、本学 WEB サイト、国際センターのページをご覧ください。

ロシア語

ロシア語は、ロシア連邦の全域のほか、主に旧ソ連の国々（ウクライナ、ベラルーシ、中央アジア諸国、コーカサス諸国のそれぞれで広範に、さらにバルト諸国の国民の一部など）で使われる言語です。世界の陸地の 6 分の 1 にあたる広大な地域で推計 2 億 7 千万人が用いる、ユーラシア大陸の一大コミュニケーション・ツールです。

学び方にコツがあり、正しく学べば無理なく習得できます。ロシア語を選べる大学はかなり稀少ですが、駒澤大学では充実した教師陣が皆さんの学びをしっかり支えます。

《ロシア語ってどんな言語？》

ヨーロッパ系の言語（インド・ヨーロッパ語族）の中の、スラヴ語派というグループに属します。つまり英語の遠縁ですが、授業では全くの初歩から学びます。スラヴ語派には、ほかにもポーランド語、チェコ語など色々ありますが文法などが似ており、“近い親戚”の関係です。大学でロシア語を学ぶと、将来ほかのスラヴ語をやりたくなった場合も、かなり簡単です。

授業では、現代の標準ロシア語を学びます。ロシア語には方言の差異があまりなく、標準語を身につければロシア語圏のどこでも通じます。また、歴史文献でも 18 世紀末以降なら、現代ロシア語の知識だけで十分に解読できます。ロマノフ朝の皇帝の手紙の多くも、ドストエフスキーの小説も、原文で読めてしまいます（なんと在学中にそのレベルに達する人もいます）。挨拶や会話に興味がある人も、歴史や文学をきわめたい人も、誰でも歓迎です。

ロシア語の発音には、独特の力強さと、リズムカルな響きがあります。ロシア民謡やロシアオペラが世界的によく知られるのも、それと無関係ではないでしょう。文字は、独自のロシア文字（キリル文字）を使いますが、英字と共通のものも多く、実はそんなに難しくありません。文法は、一部の単語が語形変化する（例えば、日本語なら「机が」「机を」と言うところを、ロシア語は「机」という単語の末尾を少し変えて表現する）のですが、見事なまでに整然としたルールがあり、覚えてしまえば楽になります（「楽」というよりは「楽しい」という学生さんもいます）。授業では、こうした文字や法則をゆっくり学び、動画などで文化も紹介します。

《これからのロシア語》

ロシア連邦がいま大きく揺れているのは、ご存知のとおりです。隣国でもあるこの巨大な国が、これからどのような道筋をたどるのか——ロシア語や文化的背景に通じ、冷静に分析ができる人材が、今後の日本では求められてゆくでしょう。また、新しい世界情勢のもとで、そのほかのロシア語圏との交流手段としての重要性も増してゆくはず（たとえば、シルクロード沿いの中央アジア諸国の多くでは、国際ビジネスの場で主にロシア語が使われています）。

スポーツや、文学、絵画、音楽、バレエ、演劇、アニメーション、宇宙開発、IT 産業（どれも、伝統的にロシアやロシア語圏が世界トップ水準にある分野）に興味がある方にも、お勧めしたいと思います。

(2) 必修以外の「選択科目」が開講されている外国語

卒業までに履修すべきものとして定められている必修の外国語科目に加えて、皆さんは自分の希望によって、「選択科目」も履修することができます。

取得した「選択科目」の単位は、所属する学部ので定める範囲内で、「卒業に必要な単位」の中に入れることができます。

「選択科目」が開講されている外国語は、前頁までに挙げた 6 つの外国語および朝鮮語です。ただし、医療健康科学部（英語必修）は「選択科目」として英語のみ履修が可能です。

以下は、「選択科目」のみ開講されている朝鮮語の紹介です。

*** 入学手続き時に指定する必修外国語として朝鮮語を選ぶことはできません。**

朝鮮語

朝鮮語は、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国からなる朝鮮半島を中心に、約 7500 万の人びとが母語として使用している言語です。また、中国大陆や中央アジアなどの朝鮮族、日本の在日朝鮮人の間でも用いられており、話者の数でみると世界で第 14 位くらいの位置を占めています。

朝鮮語の文字は、「大いなる文字」あるいは「韓の文字」の意を表す〈ハングル〉と呼ばれています。ハングルは 1443 年、朝鮮王朝第 4 代の世宗大王によって作られ、子音と母音の制字原理には朱子学的な世界観が反映されていますが、文字の形は漢字やローマ字などとはまったく異なった独創的なものです。

日本語と朝鮮語は、基本的な文法構造で類似しているところがたくさんあります。語順では、〈主語＋目的語＋述語（私は映画を見る）〉、〈修飾語＋被修飾語（きれいな青空）〉などの語順をとり、きわめてよく似ています。したがって、日本人学習者にはとても馴染みやすい、学びやすい外国語だと言えます。

ほかにも、日本語と同じく「てにをは」にあたるものがあったり、敬語の体系が存在していたり、類似点が多くありますが、一方では、日本語にない発音が多く、敬語の使い方も発想や習慣により日本語と異なる点があるので、どこがどのように日本語と異なっているか、お互いの言語を比較・対照しながら身につけていくことがたいせつです。

朝鮮語を学び、朝鮮語に触れることの楽しさを堪能していただき、DVD などの教材を通して朝鮮言語圏の文化の一端を間接体験していただければ幸いです。

初級としてはⅠA（選）、ⅠB（選）二系統の授業があります。前期のⅠAa（選）、ⅠBb（選）はいずれも、文字と発音、基本語彙と文法の学習に力を入れます。後期は文法と語彙をもとに、いろいろな表現を学びます。さらに学習を続けたい方々のために朝鮮語Ⅱa（選）、Ⅱb（選）もあります。評価の基準などは、『シラバス』を参考にしてください。

* 駒澤大学は韓国の複数の大学と協定を結んでいます。短期語学セミナー・長期留学についての最新情報は、本学 WEB サイト、国際センターのページをご覧ください。

(3) 学習に役立つ情報

最後に、役に立つ情報をいくつかご紹介しましょう。

視聴覚教材

図書館には、さまざまな視聴覚教材やビデオ映画が用意されており、個人でも利用することができます。おおいに活用し、外国語に親しんでください。

学習雑誌、検定試験

月刊『ふらんす』白水社、ドイツ語月刊誌：Deutsch perfekt.

「ドイツ語技能検定試験」(6月, 11月実施) 「実用フランス語技能検定試験」(6月, 11月)

「中国語検定」(3月, 6月, 11月実施) 「スペイン語技能検定」(6月, 10月実施)

「ロシア語能力検定試験」(5月, 10月実施) 「ハングル」能力検定試験 (6月, 11月実施)

＊英語に関しては、担当の先生に聞いて下さい。

＊「中国語検定」は学内でも受験できます (11月)。

先生の研究室へ

外国語の勉強の仕方などについて質問のある人は、第1研究館6階の専任教員の研究室を訪ねてみてください。あらかじめ出講日を調べたり、6階の外国語部門事務室に相談すれば、教員との面会がスムーズになります。各教員のオフィスアワーも活用してください。

交換留学、短期語学セミナー

駒澤大学には多くの協定校がありますので、交換留学制度(期間1年)や短期語学セミナー(夏季・春季)を利用し、さまざまな国で学ぶこともできます。

詳しくは、本学WEBサイト、国際センターのページをご覧ください。

また、それ以外の国にも民間の業者が企画する語学研修ツアーがありますので専任教員に問い合わせてください。